

APAMAN

FY2018 1Q FINANCIAL RESULTS

2018年9月期 第1四半期 決算補足資料

2018年2月8日(木)

APAMAN株式会社

JASDAQ: 8889

agenda

1. Topics
2. 2018年9月期 第1四半期 連結実績
3. 2018年9月期 第1四半期 セグメント実績
4. 事業戦略
5. 2018年9月期 連結業績予想
6. 社会とともに歩む
7. Company Profile

1 . Topics

(1) Topics

(前年同期比/単位：百万円)

■ 業績Topics (働き方改革・先行投資実施)

<p>売上高</p> <p>3.6%増↑</p> <p>(9,416 → 9,756)</p>	<p>営業利益</p> <p>28.6%減↓</p> <p>(242 → 173)</p>	<p>経常利益</p> <p>67.7%減↓</p> <p>(134 → 43)</p>	<p>当期純利益</p> <p>13.9%増↑</p> <p>(61 → 69)</p>
--	--	---	---

■ Business Topics (Sharing economyを急拡大)

<p>Sharing economy</p> <p>民泊</p>  <p>6月スタート (予定)</p> <p>(株式会社グランドウースに出資)</p>	<p>Sharing economy</p> <p>ecobike</p>  <p>5月スタート (予定)</p> <p>(OpenStreet株式会社と業務提携)</p>	<p>Sharing economy</p> <p>fabbit</p>  <p>直営18か所、提携先18か所*</p> <p>(フィリピンMarimo現地法人買収/米国Workbarに出資)</p>
---	--	---

* 2018年2月8日時点：国内店舗数は設計・施工中物件を含みます。

2. 2018年9月期 第1四半期 連結実績

(1) 連結決算主要数値推移 (前年同期比較)

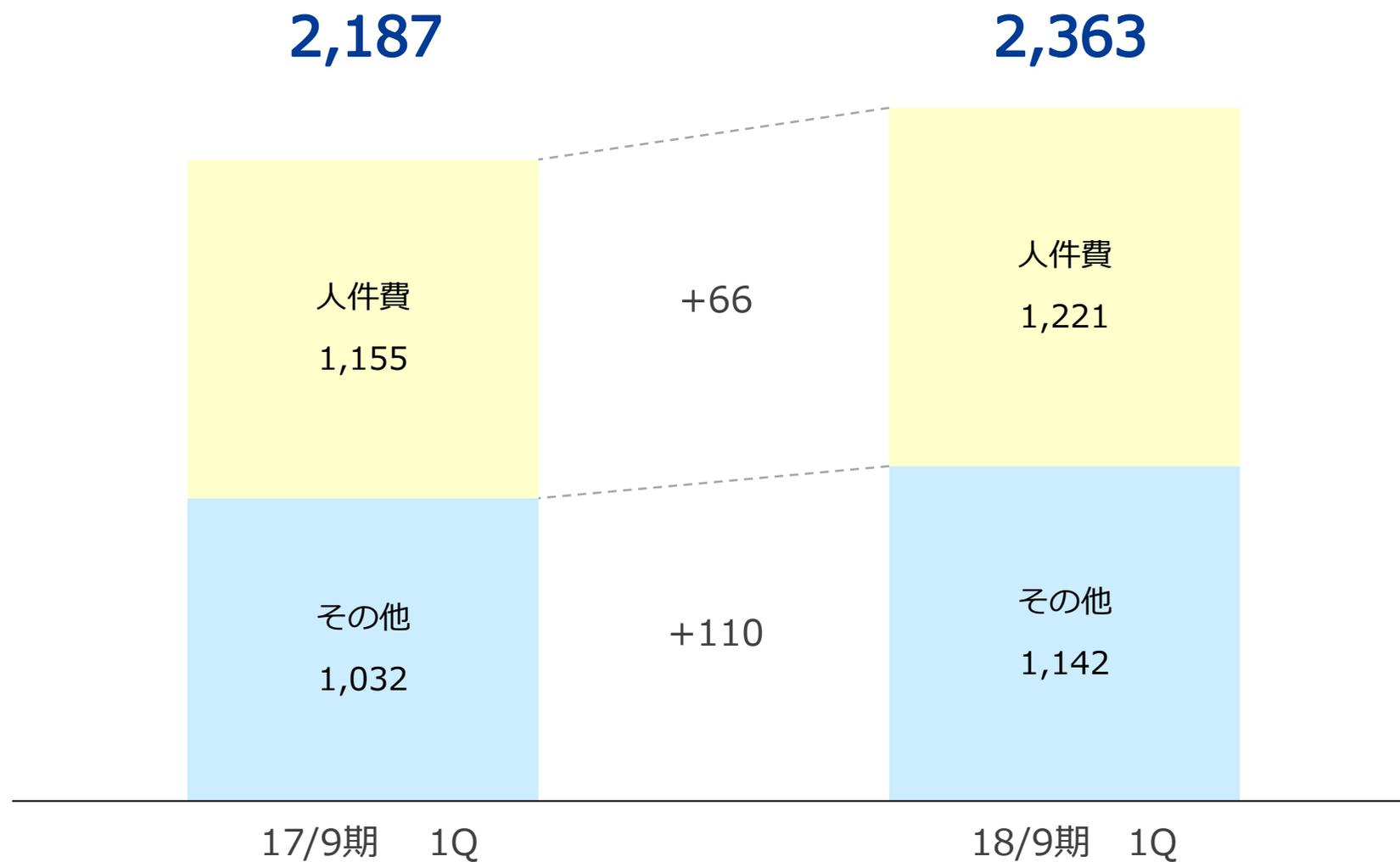
(単位：百万円)

	17/9期 1Q	18/9期 1Q	前年同期比	
			金額	率
売上高	9,416	9,756	+340	+3.3%
売上総利益	2,430	2,536	+106	+4.4%
営業利益	242	173	▲69	▲28.6%
経常利益	134	43	▲91	▲67.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	69	+8	+13.9%
EBITDA*	658	585	▲73	▲11.1%

- 売上及び売上総利益が上昇した主な理由 → 管理戸数の増加／付帯契約の増加
- 営業利益及び経常利益が減少した主な理由 → 働き方改革・先行投資の実施

* EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

(2) 連結販管費推移 (前年同期比較)



(3) 連結貸借対照表主要数値 (前期末比)

2018年1月26日に実施した固定資産売却 (166億円) による資産の減少 : 2Qにて反映

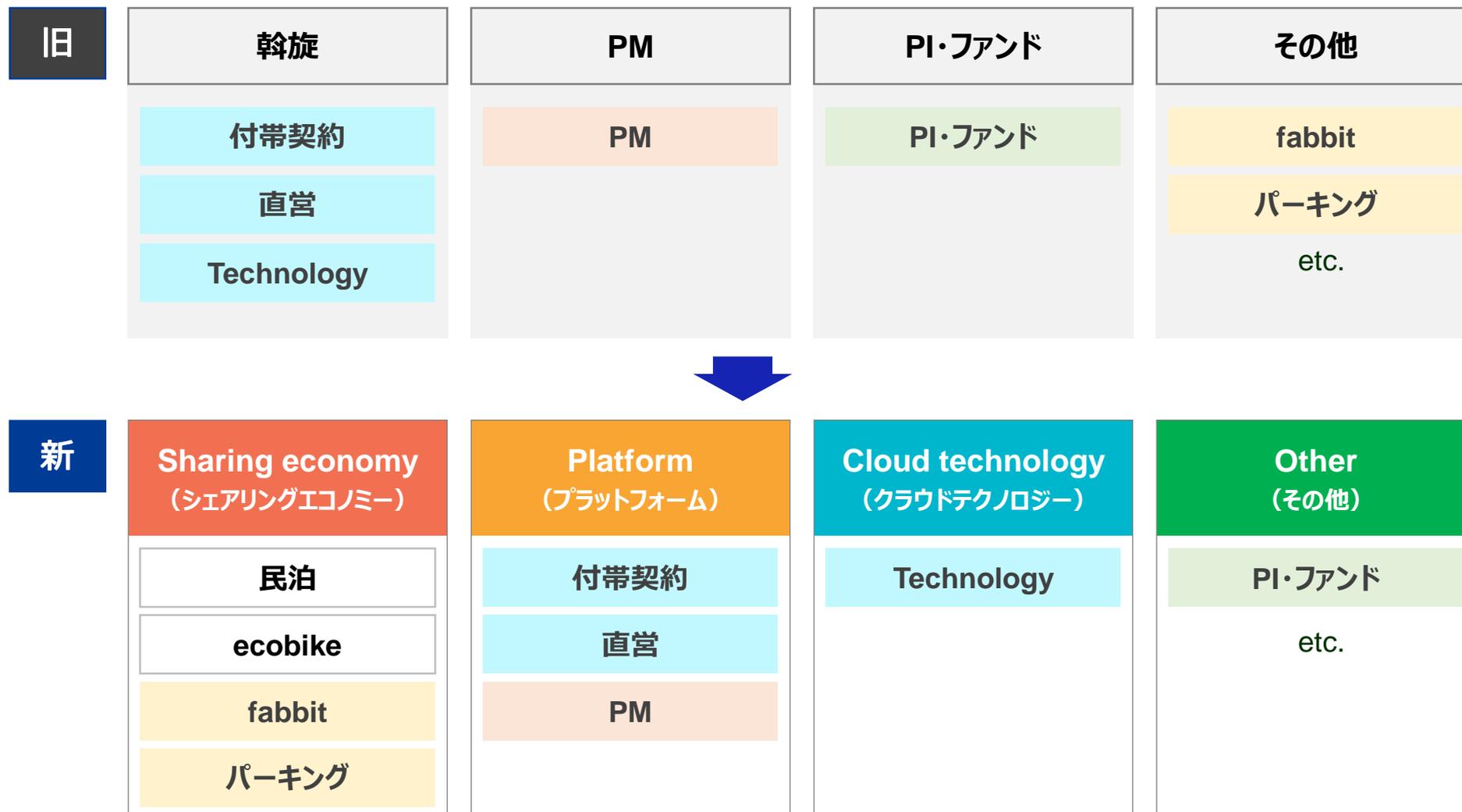
(単位 : 百万円)

資産の部	17/9期 期末	18/9期 1Q 期末	増減	負債・純資産の部	17/9期 期末	18/9期 1Q 期末	増減
流動資産	8,733	8,663	▲70	流動負債	9,393	9,936	+543
現金及び預金	3,201	2,400	▲800	買掛金	1,464	1,892	+428
受取手形及び売掛金	1,473	1,465	▲8	短期借入金*	2,915	3,242	+326
有価証券	581	591	+10	その他	5,013	4,801	▲211
その他	3,477	4,205	+727	固定負債	28,230	27,706	▲524
固定資産	34,912	34,856	▲56	長期借入金	23,596	23,018	▲578
有形固定資産	16,625	16,930	+305	長期預り敷金・保証金	4,159	4,129	▲30
無形固定資産	11,687	11,457	▲229	その他	473	558	+84
のれん	9,769	9,480	▲289	負債	37,623	37,642	+18
その他 無形固定資産	1,917	1,977	+59	資本金	7,983	7,983	±0
投資その他の資産	6,600	6,467	▲132	純資産	6,023	5,877	▲146
総資産	43,646	43,519	▲127	負債・純資産 合計	43,646	43,519	▲127

*一年内返済予定の長期借入金を含む

3. セグメント実績

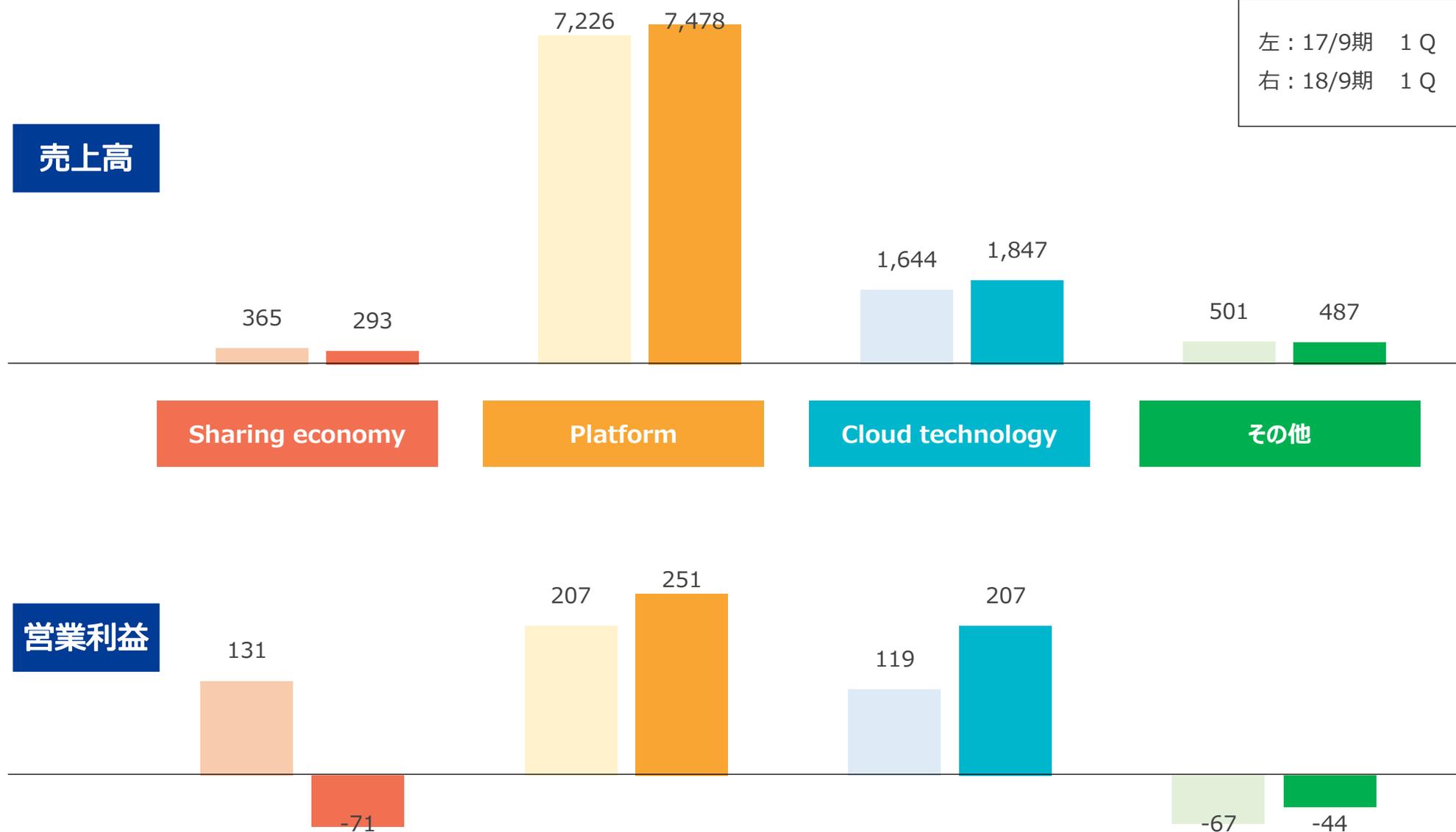
(1) セグメント新旧比較 (主要事業)



(2) セグメント別売上高・営業利益 (2期比較)

(単位：百万円)

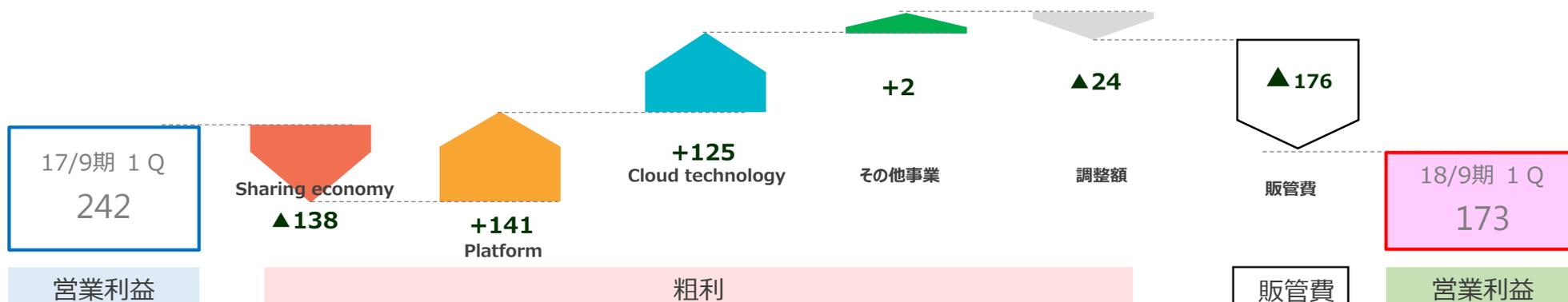
左：17/9期 1Q
右：18/9期 1Q



(3) セグメント別営業利益分析 (前年同期比)

(単位：百万円)

	17/9期 1Q			18/9期 1Q			前年同期比		
	売上高	売上総利益	売上総利益率	売上高	売上総利益	売上総利益率	売上高	売上総利益	売上総利益率
Sharing economy	365	183	50.1%	293	44	15.1%	▲72	▲138	▲34.9%
Platform	7,226	1,912	26.4%	7,478	2,053	27.4%	+252	+141	+1.0%
Cloud technology	1,644	340	20.7%	1,847	466	25.2%	+202	+125	+4.5%
その他事業	501	171	34.2%	487	174	35.8%	▲14	+2	+1.5%
調整額 (消去または全社)	-321	-178	-	-349	-202	-	▲28	▲24	-
合計	9,416	2,430	25.8%	9,756	2,536	26.0%	+340	+106	+0.2%
販管費 (販管費率)	2,187		23.2%	2,363		24.2%	+176		+1.0%
営業利益 (営業利益率)	242		2.6%	173		1.7%	▲69		▲0.8%



(4) Sharing economy事業 (2期比較)

(単位：百万円)

	17/9期 1 Q	18/9期 1 Q	前年同期比	
			金額	率
売上高	365	293	▲72	▲19.7%
営業利益 (営業利益率)	131 (35.8%)	▲71 (-)	▲202	- (-)

民泊



6月スタート (予定)

株式会社グランドゥースに出資



ecobike



5月スタート(予定)

OpenStreet株式会社と業務提携

fabbit



直営19か所、提携先18か所

フィリピンmarimo現地法人買収、
米国Workbar出資



Parking



コインパーキング2,337台

軒先株式会社に出資



(5) Platform事業 (2期比較)

(単位：百万円)

	17/9期 1 Q	18/9期 1 Q	前年同期比		
			金額	率	
売上高	7,226	7,478	+252	+3.4%	
営業利益 (営業利益率)	207 (2.6%)	251 (3.2%)	+43	+20.8%	
管理戸数 (戸)	70,516	73,470	+2,954	—	
1,000戸 あたり	売上高	87	86	▲1	—
	営業利益	3.4	5.1	+1.7	—
FC契約店舗数	1,149	1,144	▲5	—	
直営契約店舗数	104	107	+3	—	
直営店 (国内) 1店舗あたり	売上高	10.0	10.3	+0.3	—
	営業利益	0.4	0.0	▲0.4	—

* 1店舗あたりの売上高及び営業利益は、アバマンショップ直営店 (国内) のオープン店舗数の期中平均にて算出しております。

(6) Cloud technology事業 (2期比較)

(単位：百万円)

	17/9期 1Q	18/9期 1Q	前年同期比	
			金額	率
売上高	1,644	1,847	+202	+12.3%
営業利益 (営業利益率)	119 (7.2%)	207 (11.2%)	+88	+74.3%

■ Cloud technology 一例

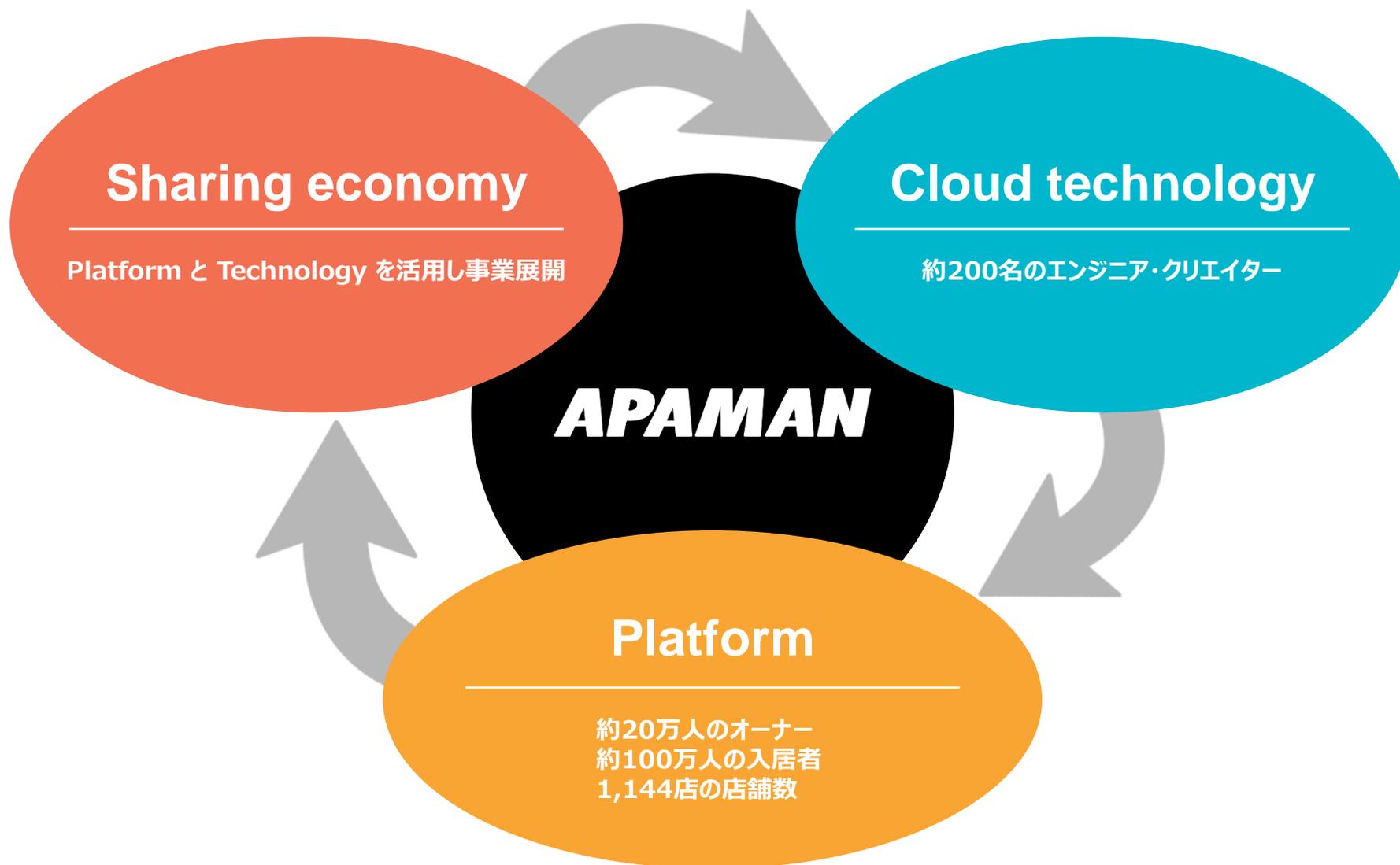
紹介CLOUD

来店CLOUD

査定CLOUD

4. 事業戦略

(1) APAMANグループの強み

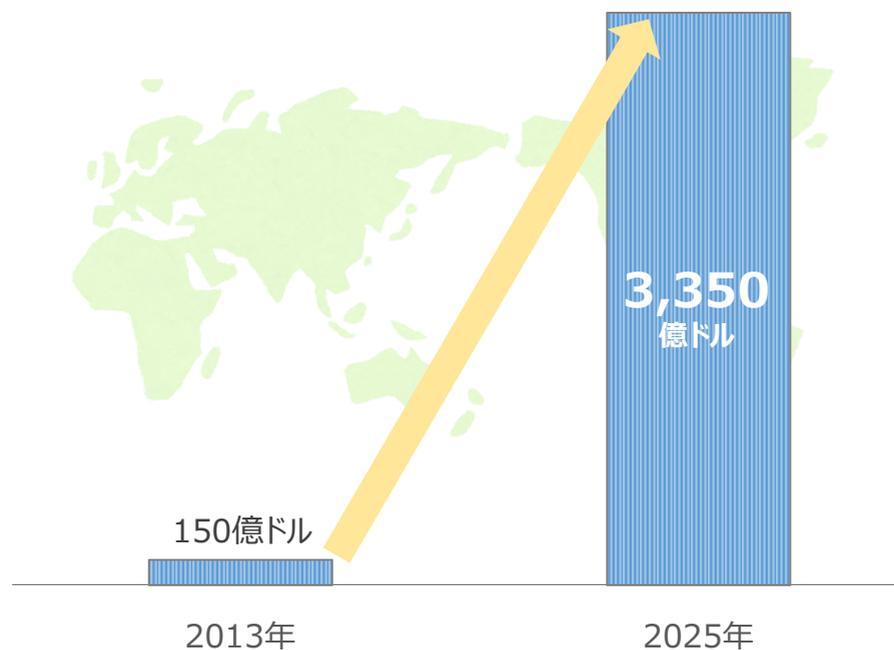


(2) Sharing economy Strategy (Market)

拡大するグローバル市場に参入

■ 全世界の市場*

2025年に3,350億ドルに



民泊



6月からスタート

ecobike



5月からスタート

fabbit



直営19カ所、提携先18カ所

Parking



コインパーキング2,337台

* 出典：経済産業省「情報通信白書 平成27年版」

(2) Sharing economy Strategy (民泊/ecobike)

民泊事業会社への出資とecobike事業の立ち上げによる事業の拡大

民泊

6月からスタート

特区民泊

大阪、福岡...

民泊新法

2018年6月15日

簡易宿泊所

既存住宅を改装または新築

ecobike

5月からスタート

CO₂
排出削減

市街地
混雑緩和

違法駐輪
削減

資産効率
拡大



(2) Sharing economy Strategy (Coworking)

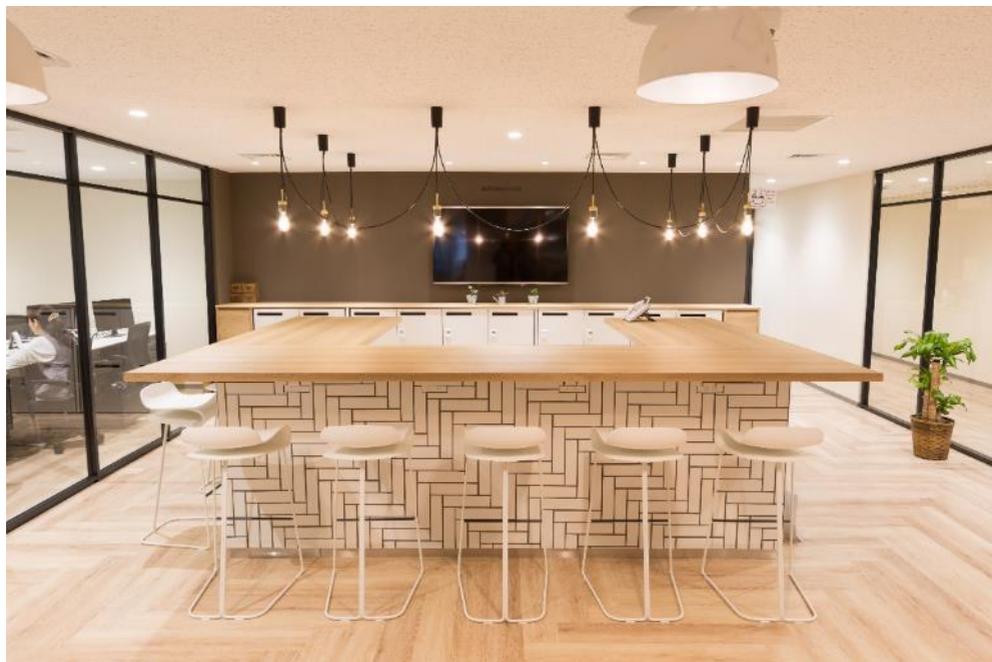
直営19カ所、提携先18カ所

fabbit

国内18カ所、海外1カ所



提携店 米国18カ所



※2018年2月8日時点：国内店舗数は設計・施工中物件を含みます。Workbarは出資企業です。

(2) Sharing economy Strategy (Coworking)

支援プログラム

- (1) 支援協議会の設置
- (2) マンスリーカンファレンスの開催
- (3) 「メンター」「コミュニティアクセラレーター」「インキュベーションマネージャー」による段階的なMTG
- (4) 起業家交流会・ネットワーキングパーティー
- (5) ものづくりピッチコンテスト
- (6) 金融機関の情報発信
- (7) VC紹介・クラウドファンディング
- (8) Design Lab・Creative Lab・Engineer Labの開催
- (9) メディア
- (10) 大規模カンファレンス

大規模カンファレンス (例)



アドバイザーボード・代表者

fabbit advisory board



Keith Krach 氏

DocuSign, Inc. 取締役会長

ハーバード大学でMBAを取得し、GM史上最年少副社長に就任。元Ariba会長及びCEO Ernst & YoungからNational entrepreneur of the yearに指名。世界経済フォーラムでTechnology Pioneer Awardを受賞。その他様々な企業の会長職や大学の博士号を取得。



藤井 ダニエル一範 氏

トラスト・キャピタル(株) 代表取締役社長 兼 CEO

ハーバード大学で学士号・ハーバード大学大学院で修士号を取得。元Blackstone日本代表。ハーバードクラブ・オブ・ジャパン理事。Phillips Andover Asia Council 役員。米日カウンシルの理事、シリコンバレージャパンプラットフォーム (SVJP) のエグゼクティブコミティメンバー。



那珂 通雅 氏

ボードウォーク・キャピタル(株) 代表取締役社長CEO

慶應義塾大学理工学部を卒業。1989年に理工学研究科工学修士取得。元シティグループ証券 取締役副社長。一橋大学大学院 非常勤講師、慶應義塾大学非常勤講師

fabbit (株) 代表取締役社長



田中 保成 氏

ハーバード大学でMBAを取得し、ボストン・コンサルティング・グループなどを経て、fabbit株式会社 代表取締役に就任

(2) Sharing economy Strategy (Parking)

コインパーク、シェアパーク、月極WEB事業を推進



※画像はイメージまたは開発中のものです

(3) Platform Strategy

オーナー様・入居者様の満足度向上と新サービス開発による事業収益の向上

約20万人の
オーナーマネタイズ



約100万人の
入居者マネタイズ



緊急駆け付け (月額)



保険



保証



エネルギー



通信



金融サービス



NHK取次ぎ



ヘアシュ



ウォーターサーバー



火消ツシ



(4) Cloud technology Strategy

クラウドサービスの自社開発、開発・提供をする企業との積極的アライアンスにより
スピード感のある事業の拡大

AR-Tech

14種類のクラウドサービスを提供



査定CLOUD



紹介CLOUD



来店CLOUD

など

シェアリングキー

3G/LTE搭載カギデバイス



RPA

物件情報をロボットが自動で取得し、
基幹システムへ送信するシステム



apamanshop.com



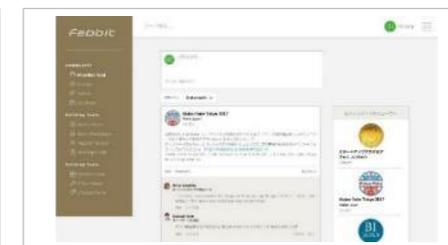
DocuSign



評価システム



fabbit 入居者 システム



5. 2018年9月期 連結業績予想

(1) 連結決算主要数値業績予想 (2期比較)

「固定資産譲渡に伴う特別利益及び法人税等の計上、借入金の返済並びに
預り保証金の減少」により予想修正

(単位：百万円)

	17/9期 実績	18/9期 予想	前年同期比	
			金額	率
売上高	40,262	40,500	+238	+0.6%
売上総利益	11,806	11,900	+94	+0.8%
営業利益 (営業利益率)	2,556 (6.4%)	2,600 (6.4%)	+44	+1.7% (±0%)
経常利益	2,017	2,100	+83	+4.1%
親会社株主に帰属する当期 純利益	1,300	800	▲500	▲38.5%

* EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費

6. 社会とともに歩む

(1) CSR (企業の社会的責任) に対する考え方

企業の社会貢献が広がれば日本は必ず良くなる

“人がいて社会が成り立ち” “社会があって企業は存在できる”。

したがって、企業は、人や社会に貢献し、人や社会から必要とされる存在でなくてはならないと考えています。

特に、企業の判断基準は、自社の利益だけを考えるのではなく、企業活動そのものが、社会の役立つことが必要であると思うのです。

また、企業は、利益や、労働の一部を、社会に還元しなくてはならないと考えております。企業にとって利益はとても大切なものですが、企業の利益と社会の発展とは表裏一体であり、利益の一部を社会へ提供することは、企業の責任であると思うのです。

(2) CSR活動事例

出会いサポートセンター「JUNOALL」

年1万組の結婚を目指す、出会いサポートセンター

出会いサポートセンター
JUNOALL
ジュノール

年間1万組の婚姻を目指しています

特定非営利活動法人
北九州出会いサポートセンター
JUNOALL

北九州 福岡
宗像 静岡

目標・47都道府県開設!

弊社代表は、内閣府「少子化克服戦略会議」の委員です



* 出典：NHK News Web 1月22日 「少子化克服戦略会議 6月めどに提言取りまとめへ」

7. Company Profile

(1) Company profile

商号	APAMAN株式会社
設立年月日	1999年10月20日
代表取締役社長	大村 浩次
資本金	79.8億円 (2017年12月31日現在)
連結従業員数	1,107名 (2017年12月31日現在)
本社所在地	東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル
グループ会社	Apaman Network (株) Apaman Property (株) (株) アパマンショップリーシング 国内20社・海外4社 計24社
事業内容	Sharing economy Platform Cloud technology
証券コード	8889 (JASDAQ スタANDARD)



(2) Slogan

テクノロジーを核とした
革新的なサービスを提供する
グローバル企業へ



斡旋事業・賃貸管理事業拡大 (プラットフォームの構築・拡大)

- FC店舗数1,000店舗達成
- 直営店舗運営開始
- 管理戸数増加



不動産賃貸仲介業のIT化、
業界の質的向上を目指して設立



本資料に関する注意事項

本資料は、あくまでも『平成30年9月期第一四半期 決算短信』をもとに作成された補足資料です。
また、本資料の表示数値は金額に関しては切り捨て、パーセンテージ表示については四捨五入等、端数計算により行っているため、算式に基づき算定される数値とその結果として記載される数値は必ずしも一致しない場合があります。
本資料に記載されている経営戦略、計画や見通し等は、過去の事実を除いて将来の予測であり、現時点において入手可能な情報や合理的判断の根拠とする一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これらの見通しとは大きく変動する場合があります。
本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。

また、掲載内容については、細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の内容が正確であるかどうか、有用であるかどうか、更新時期が適切であるか等について当社は一切保証するものではありません。また、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料は、APAMAN株式会社および当社関係会社の事業の概要へのご理解をいただくために作成されたものであり、投資の勧誘または斡旋を行うものではありません。投資に関するご判断はお客様自身の責任で行われますようお願い申し上げます。